

「日本と世界が出会うまち・堺 2015」研究発表・講演会

日時	2015年11月22日(日) 13時～17時	場所	サンスクエア堺ホール
主催	堺市(主管:堺市博物館) 大阪大学(主管:大阪大学歴史教育研究会)	後援	大阪府教育委員会
協力	「日本と世界が出会うまち・堺 2015」プロジェクト研究会		

開催趣旨

堺は、ユネスコ世界文化遺産登録をめざす百舌鳥古墳群が造営された古代以来、多彩な国際交流の歴史を持っています。とりわけ15世紀から17世紀には、日明貿易、琉球貿易、「南蛮貿易」、朱印船貿易などの国際交易で繁栄し、「日本のベニス」と呼ばれました。千利休に代表される茶の湯文化なども、この時代に大きく花開きました。

次代を担う中学生・高校生を対象として、このような堺の国際交流の歴史やユネスコ世界文化遺産などに関する研究発表を公募したところ、中学校・高等学校7校から13グループの応募がありました。本日の研究発表・講演会は、これらの研究発表や講演を通して、日本や世界の歴史に対する理解を深めるとともに多文化共生の心を育み、アジアをはじめ世界各地との新たな架け橋となる人材の育成をめざして開催します。

プログラム

時間		内容					
12:30	13:00	開場	受付				
13:00	13:05	開会	司会からのご挨拶、進行説明など				
			グループ名	研究 人数	発表 人数	テーマ 概要	形式
13:05	13:20	研究発表 1番	開明中学校 開明 ~strawberry class~	4	4	堺の 特産品	パワー ポイント
13:20	13:35	研究発表 2番	開明中学校 開明 girls 1-7	6	6	堺の 伝統産業	パワー ポイント
13:35	13:50	研究発表 3番	帝塚山学院高等学校 歴史研究部	5	5	大仙古墳	パワー ポイント
13:50	14:05	研究発表 4番	金蘭千里高等学校 鉄道研究部	5	4	205系	パワー ポイント
14:05	14:20	研究発表 5番	雲雀丘学園中学校 H・B・R	6	6	堺の 食文化	映像
14:20	14:35	研究発表 6番	関西大学中等部・高等部 フィールドワーク部・歴史班	5	5	隠れキリシ タン	パワー ポイント
14:35	14:50	研究発表 7番	金蘭千里高等学校 千里歴史研究会	7	7	大阪万博	パワー ポイント
14:50	15:05	研究発表 8番	帝塚山学院泉ヶ丘高等学校 TG15	5	5	堺刃物	パワー ポイント
15:05	15:20	研究発表 9番	帝塚山学院泉ヶ丘高等学校 culumi	3	3	堺の 茶菓子	動画
15:20	15:35	研究発表 10番	開明中学校 開明 History Scoop Hunters	4	4	大仙古墳 と千利休	パワー ポイント
15:35	15:50	研究発表 11番	雲雀丘学園中学校 発展男子グループ	3	3	有岡城	パワー ポイント
15:50	16:05	研究発表 12番	雲雀丘学園中学校 中3一貫男子グループ	3	3	ラーメン	パワー ポイント
16:05	16:15	休憩<10分間>					

プログラム			
時間		内容	
16:15	16:45	講演	後藤敦史・大阪観光大学国際交流学部専任講師 「日本と世界が出会ったとき・堺 1954」
16:45	16:55	審査発表 表彰、講評	高校生の部＝最優秀賞1、優秀賞1、奨励賞5 中学生の部＝最優秀賞1、優秀賞1、奨励賞4
16:55	17:00	閉会	おわりのご挨拶

研究発表 要旨							
時間		内容	グループ名	研究 人数	発表 人数	テーマ 概要	形式
13:05	13:20	研究発表 1番	開明中学校 開明 ～strawberry class～	4	4	堺の 特産品	パワー ポイント
私たちが守りぬくもの							
<p>堺の特産品の中で「和菓子」「刃物」「線香」を取り上げて、その歴史と価値を調べ、後世まで受け継ぐために重要なことを研究する。</p> <p>和菓子は、干利休より大成された「茶の湯」の歴史と現代の生活に与えた影響を中心に、刃物は、弥生時代中期に石包丁として使用された時代から現代まで続く歴史とその価値を中心に、線香は、中国から伝来し日本の生活に広まった過程と生活に与えた影響を中心に調べる。</p> <p>そして、長い歴史の中で堺のまちで大切に守り、伝え続けてきたものを、次世代へ繋ぐために大切なことは何なのかを明らかにする。</p>							
13:20	13:35	研究発表 2番	開明中学校 開明 girls 1-7	6	6	堺の 伝統産業	パワー ポイント
堺の伝統産業と現代							
<p>「堺の伝統産業」と言われて思いつくものは刃物、自転車、線香などたくさんある。では、その技術はどのように伝わってきたのだろうか。それは「貿易」にあると考えられる。私たちは貿易と堺の伝統産業が深く関わっていると考えた。</p> <p>例として刃物が挙げられる。刃物は16世紀後半、ポルトガルから伝わったタバコが国内で栽培され、タバコの葉を刻む包丁が大量に必要なため、堺で初めて「タバコ包丁」が作られるようになる。一本一本丁寧に仕上げられた堺の包丁は切れ味が良く、多くのプロ料理人に愛され、食文化の発展に大きく貢献した。</p> <p>このように貿易と堺の伝統産業は深くかかわっており、どちらが片方でも欠けたら、現代まで続く伝統産業は無かったと考えられる。私たちは、このような堺の伝統産業と貿易の関わりを広く解き明かし分析をしたいと考えている。</p>							
13:35	13:50	研究発表 3番	帝塚山学院高等学校 歴史研究部	5	5	大仙古墳	パワー ポイント
百舌鳥古墳群 ～世界遺産への道～							
<p>約1500年前につくられた大仙古墳。</p> <p>日本最大の古墳とその歴史を身近に感じるまち、堺で私たちは何を学ぶことができるのか。大仙古墳はなぜ堺につくられたのか、誰のための古墳なのか。歴史を振り返りながら考察する。</p> <p>百舌鳥古墳群の世界遺産登録に向けて堺のまちは今、歩みだす。</p>							
13:50	14:05	研究発表 4番	金蘭千里高等学校 鉄道研究部	5	4	205系	パワー ポイント
205系の海外譲渡							
<p>大阪の天王寺から和歌山間と鳳から東羽衣（羽衣支線）の全長63.0kmを結ぶJR阪和線、主に普通に充当される205系は現在4編成5本が阪和線に在籍している。</p> <p>この205系、実は海外への譲渡が進んでいる。残念ながらJR西日本にこの計画は今のところないものの、JR東日本は2013年から埼京線、横浜線から撤退した205系356両をインドネシアのジャカルタ首都圏鉄道会社へ譲渡していた。更に、今年4月、南部線で走っていた205系120両の譲渡も決定。JR東日本とジャカルタ首都圏鉄道会社はどのように結び付いたのか、今後どうなるのかを研究する。</p>							

研究発表 要旨							
時間		内容	グループ名	研究人数	発表人数	テーマ概要	形式
14:05	14:20	研究発表 5番	雲雀丘学園中学校 H・B・R	6	6	堺の 食文化	映像
堺の食文化について ～茶道・茶菓子を中心に～							
<p>戦国時代の堺は商人たちの自治的な町として知られている。イエズス会宣教師ガスパルヴィレラが「東洋のベニス」と称した堺は商人を中心として繁栄を遂げる。その中で千利休が堺を中心に茶道を広めると侘びさびの文化が商人の間に広まった。この文化は現在にも受け継がれ、芥子餅やくるみ餅など多くの銘菓が作られており堺は和菓子の町としても知られている。</p> <p>そこで、本研究では、堺の和菓子と茶道に着目し、堺の和 문화の世界の特徴を歴史的に明らかにすることを研究目標とする。茶道の歴史を研究することはもちろん、堺の茶道文化の特色を浮かび上がらせるために堺以外の地域の茶道文化も考察の対象に加え、幅広い地域の歴史を研究の視点に取り入れたい。</p>							
14:20	14:35	研究発表 6番	関西大学中部部・高等部 フィールドワーク部・歴史班	5	5	隠れキリシ タン	パワー ポイント
茨木の隠れキリシタンの謎に迫る							
<p>僕たちは茨木市の隠れキリシタンについてとキリシタンと堺の関わりについて発表します。このテーマを選んだ理由は、中部部での総合学習の高槻プロジェクトで有名なキリシタン大名の1人である高山右近について調べていくうちに茨木市の千提寺・下音羽地域に桃山時代から大正時代にかけて隠れキリシタンの人々が住んでいたということを知り、たくさんの疑問が生まれてきたからです。疑問というのは「高山右近が北摂に領地を得てキリスト教を広めたことと千提寺の隠れキリシタンとの関係は何なのか?」、「禁教時代に入ってキリシタンを受け入れたのが寺(曹洞宗)であったことから仏教とキリシタンとの関係は?」、「キリスト教布教の起点となった港市の堺との関わりは?」ということです。</p> <p>以上のことについて調べたことを発表します。また、長年キリシタンであることを隠して生活してきた人々については謎が多いのですが、何が明らかになり、わからないことは何かについても発表したいと思います。</p>							
14:35	14:50	研究発表 7番	金蘭千里高等学校 千里歴史研究会	7	7	大阪万博	パワー ポイント
大阪万博から見た未来							
<p>私たちの学校は大阪万博を含む千里ニュータウンの開発に伴い開校され、生徒が万博公園のポスターのモデルに起用されるなど、大阪万博がとても身近である。また、私たち自身も学校行事で万博公園に行くため、大阪万博に注目した。</p> <p>大阪万博は世界との交流の場であったと共に、建築オリンピックと呼ばれている。万博は開催が一時的なため、万博は建築物の実験場としての役割を担った。また、大阪万博の時代は未来や宇宙に対する関心が強く、当時の人々は未来都市を想像している。未来都市は少年向けの漫画やイラストに描かれている他にも、建築家も未来都市の構想をしていて、大阪万博にはその影響が見て取れる。</p> <p>私達は大阪万博の時代背景や建築物の考察から万博の役割、及び今後の万博への提案をしていく。</p>							
14:50	15:05	研究発表 8番	帝塚山学院泉ヶ丘高等学校 T G I 5	5	5	堺刃物	パワー ポイント
斬れ！ 小さなサムライ・ソード							
<p>堺の刃物の技術は世界的にも有名です。</p> <p>しかし、その技術が他の発展にも応用されているのは知っていますか？堺は刃物づくりの技術の応用で銃の製造を行っていたり、堺の刃物によっておぼろ昆布が作り出されたりといった説があります。</p> <p>また、堺の刃物は世界とも関係があります。堺の包丁が発展した起源はポルトガルから伝わったタバコ包丁だという説がありますし、堺の包丁が海外の博物館に展示されたこともあります。</p> <p>このような堺の刃物についての話を、パワーポイントを使って紹介していきたいと思ひます。</p>							

研究発表 要旨							
時間		内容	グループ名	研究人数	発表人数	テーマ概要	形式
15:05	15:20	研究発表 9番	帝塚山学院泉ヶ丘高等学校 culumi	3	3	堺の 茶菓子	動画
帝泉 堺ふしぎ発見！ ～もちで世界を「くるみ」ます～							
堺出身の茶聖・千利休が茶席の供として愛した堺の茶菓子たち。 その茶菓子たちは「東洋のベニス」と呼ばれた国際都市・堺ならではの外国からもたらされる貴重な材料を使ったものなど、独特で魅力にあふれています。そんな魅力的な茶菓子発祥の地・堺の茶菓子たちを楽しくクイズを交えて発表します。 私たちの発表を見た後に食べる茶菓子が、今よりさらにおいしくなるような発表を目指します。							
15:20	15:35	研究発表 10番	開明中学校 開明 History Scoop Hunters	4	4	大仙古墳 と千利休	パワー ポイント
～堺に世界遺産を～ 仁徳天皇&茶の文化は生きている！！							
百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録を目指した取り組みをアピールするため、特に「大仙古墳と千利休」を中心にその価値と意義を調べ、研究し、考察したい。 大仙古墳は、世界最大級の墓であり、当時や後世の歴史に多大な影響を与えている。また、埴輪や副葬品など当時の様子を現在に伝える物が多数出土し、貴重な歴史的価値を持つ。千利休は茶道の大成はもちろんのこと、時の権力者豊臣秀吉の側近としても活動し、日本の国づくりにも大きく貢献した。後世の日本の政治・社会に大きな影響を与えたその功績を調べたい。 大仙古墳の規模と、茶道における千利休の存在は、日本一である。日本を海外にアピールする上でも両者は欠かせない存在であることを発表したい。							
15:35	15:50	研究発表 11番	雲雀丘学園中学校 発展男子グループ	3	3	有岡城	パワー ポイント
探究！ 幻の有岡城！							
私達の学校がある兵庫県には、世界文化遺産の姫路城があります。しかし、私達の学校は、姫路城から遠い県の南東部にあります。では、学校のまわりに城はないのかと調べてみると、去年の大河ドラマ『軍師官兵衛』で黒田官兵衛が荒木村重に幽閉された伊丹市の有岡城があることが分かりました。しかし、有岡城の姿は、現在はほとんどわかりません。そこで、幻の有岡城の姿をぜひ復元してみたいと考えました。							
15:50	16:05	研究発表 12番	雲雀丘学園中学校 中3一貫男子グループ	3	3	ラーメン	パワー ポイント
中華と和食を結ぶラーメン							
ラーメンは、中華そばをもとに作り出された「和食」だが、その違いをみんながどのように考えているのかを調べてみたい。チキンラーメンのルーツとなった神戸の中華そばとラーメンはどうつながっているのか、中華料理屋さんや中国の人は、この二つをどのように区別しているのか、などを実際にインタビューなど行って考えてみたい。また、チキンラーメン発明記念館を訪ねて、中華そばとインスタントラーメンのつながりについても調べたい。							
		研究発表	大阪府立堺東高等学校 堺学講座	3	0	渡来人	<注>
世界から堺へ、堺から世界へ ～渡来人と堺のつながり～							
「もののはじまりなんでも堺」と言われ、古代より世界との窓口であった堺には、様々な技術・知識が伝来した。その中でも、私たちは、現在大阪府や堺市などが世界文化遺産への登録を目指している百舌鳥古墳群に注目した。特に世界三大墳墓に数えられる大仙古墳などを調べていくうちに、古墳の築造には、中国大陸や朝鮮半島から渡来した多くの渡来人と呼ばれる人々が関わっていることがわかってきた。今回の発表は、古墳の築造と渡来人のかかわりを中心に、渡来人が堺にやってきた理由、渡来人によってもたらされた技術、渡来人がその後日本でどのようになったか、などについて、外来の技術が堺を玄関口として日本に根付いたことを、その他の時代の事例も交えて明らかにしていきたい。<注>本グループは、ポスターセッションでの発表参加となりました。							

講演			
16:15	16:45	講演	後藤敦史・大阪観光大学国際交流学部専任講師 「日本と世界が出会ったとき・堺 1954」
講師プロフィール			
<p>講演 講師プロフィール 後藤 敦史（ごとう あつし） 1982年（昭和57年）生まれ。大阪大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。博士（文学）。日本学術振興会特別研究員（PD）を経て、2013年（平成25年）4月から大阪観光大学国際交流学部専任講師。主な著書は、『開国期徳川幕府の政治と外交』（有志舎、2015年）、『アニメで読む世界史2』（共編者、山川出版社、2015年）など。</p>			

【メモ欄】